

所 報

(1999.9.1~10.31)

刊行物（研究所叢書）

『大原社会問題研究所雑誌』491号（1999年10月号）

『大原社会問題研究所雑誌』492号（1999年11月号）

『新着図書目録』197号（1999年10月1日発行）

図書受入（9月）

	和書	洋書	計
購入	74	47	121
受贈	51	5	56
合計	125	52	177

図書受入（10月）

	和書	洋書	計
購入	48	49	97
受贈	92	1	93
合計	140	50	190

閲覧サービス（9月）

閲覧

開館日数 22日

閲覧人員 57名

貸出図書 82冊

コピーサービス

学外 33件 5263枚

学内 6件 383枚

閲覧サービス（10月）

閲覧

開館日数 25日

閲覧人員 56名

貸出図書 57冊

コピーサービス

学外 24件 2669枚

学内 0件 0枚

日 誌

9月

1日 私立大学図書館協会レファレンス分科会合宿
（於：館山，昭和女子大学望秀海浜学寮）参加：遊座圭子（～3日）
第60回私立大学図書館協会総会・研究会
（於：九州産業大学）参加：神屋敷昭人
『日本の労働組合100年』編集会議

8日 臨時運営委員会

13日 萩原進氏（運営委員，経済学部教授）より労働問題関係図書（段ボール約40箱）受贈

15日 夏季休暇終了

18日 加齢過程における福祉研究会

報告者 秋山正子氏（白十字訪問看護ステーション所長）

テーマ 「訪問看護ステーションとターミナルケア」

21日 見学来所：前田かおり氏（日本国際問題研究所図書室司書）

22日 運営委員会

議題 80周年記念事業について

「社会・労働関係データベース」著作権について

渡辺論文について

『日本の労働組合100年』編集会議

26日 “OISR-WATCH” No.9発行

28日 事務会議

29日 研究員会議

議題 80周年シンポジウムについて

その他

月例研究会

報告者 横関至（大原社会問題研究所兼任研究員）

テーマ 「大西俊夫と戦前・戦後労働運動」

10月

12日 私立大学図書館協会レファレンス分科会
（於：学習院大学）参加：遊座圭子

13日 運営委員会

議題 報告事項

渡辺論文について

その他

14日 第1回図書館総合展（～15日，参加：遊座圭子，神屋敷昭人）

16日 経営労務研究会

報告者 相田利雄

テーマ 「ホワイトカラーの昇進構造序論」

加齢過程における福祉研究会

報告者 中村喜美子氏（桜町聖ヨハネホーム）

テーマ 「老人ホームにおけるターミナルケア」

18日 近現代資料刊行会より『植民地社会事業関係資料集』（朝鮮編6, 7）を受贈

20日 80周年シンポジウムについての記者会見（早川征一郎, 労働省クラブ）

“OISR-WATCH” NO. 10発行
事務会議

21日 労働資料協（於：埼玉大学）出席：早川征一郎, 若杉隆志, 上田洋子

北米労働史大会（～23日, 於：Wayne State University）参加：鈴木玲

23日 社会政策学会第99回大会（～24日, 於：鹿児島大学）参加：早川征一郎, 五十嵐仁, 吉田健二, 二村一夫

27日 研究会議

議題 80周年記念シンポジウム準備について

『日本の労働組合100年』について
その他

月例研究会

報告者 野村一夫（大原社会問題研究所兼任研究員）

テーマ 「健康の批判的理論序説」

第85回全国図書館大会（～29日, 於：滋賀県大津市, びわ湖ホール）参加：遊座圭子

特記事項

不要図書を下記の労働資料協に送る。大阪社会運動協会73冊, 香川大学経済研究所18冊, 埼玉大学経済学部29冊, 川崎市労働資料室9冊, 日本労働研究機構5冊, 大阪市立大学経済研究所7冊, 北海道労働資料センター1冊, 計142冊。残りの448冊を多摩図書館のリサイクルコーナーへ出す。

不要図書を多摩図書館のリサイクルコーナーに出したところ, 448冊中, 179冊がリサイクルされ, 残269冊を廃棄処分とする。

編集後記

この特集号は, 全く新たに書かれたWebサイトに關する原稿を除くと, 基本的には70周年記念特集（363・364号, 1989年2・3月）を基礎にしたものである。歴史, 所蔵図書・資料, 文献目録, 状況などがそれに当たる。

改めて10年前の70周年記念特集号と見比べてみると, 10年前に執筆して下さった方のうち, 多くの方々が研究所を去られたことがわかる。当時専任所員であった是枝洋, 北村芙美子, 谷口朗子, 二村一夫の四氏は退職され, 立花雄一氏は, 図書館への異動の後に退職された。田沼明子, 小島英恵の両氏は, 図書館に異動された。また兼任研究員として原稿を下さった平井陽一, 浅見和彦, 大野節子の三氏も退職された。

これら10人の方々には70周年記念号の旧稿を利用させていただいたことに感謝しなければならない。

なお, 忘れてはならないのは, 相馬保夫氏のことである。氏は1987年度まで兼任研究員として『社会・労働運動大年表』などの仕事を担当されていたが, 70周年記念特集のための研究所所蔵資料紹介についての原稿を当時の赴任先である鹿児島から送って下さった。そのことにも深く感謝しなければならない。

さて, 200ページを越える大冊となった今回の特集ではあるが, 研究所所蔵資料の全てを紹介できた訳ではない。特に村田文庫, 大原文庫, 東城文庫などの個人文庫は紹介できなかった。それらについては, 他日を期したいと考えている。

多くの方の御協力でようやく80周年記念特集号をお届けできることになるが, 『日本の労働組合100年』の出版などの他の事業も重なったため, 本号の発行が当初の予定より1ヵ月近く遅れてしまった。この点については読者の方々に深くお詫びしたい。

今回, 特にスペースがあいたため, 文字通りの埋め草として編集後記を掲載することとし, お手慣れの小生が執筆した。 (佐伯)

大原社会問題研究所雑誌 No.494・495

(2000年1・2月号)

2000年2月25日発行

定価 2,000円（本体1,904円）, 年間購読料12,000円

編集人 早川征一郎

発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 早川征一郎

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042 (783) 2307

日本労働研究雑誌

No. 474 1999年12月

定価 895円 年間購読 10,740円

特集 労働者としての中間管理職

提言	管理職のリストラ	伊丹 敬之
論文	成果主義の浸透が職場に与える影響 リスクとチャンス 中間管理職に法的保護は必要か?	守島 基博 小島 典明
紹介	課長の組合員化と労働組合 管理職の精神的ストレス	小林 良暢 今井 保次
論文	中間管理職のスキル, 知識とその学習 人的資源管理の制度改革 ドイツにおける労働市場政策の新戦略	楠見 孝 有賀 健 W. ドイブラー
書評	ロバート・E. コール著『品質流行をマネージする』 川口美貴著『国際社会法の研究』	安保 哲夫 岩村 正彦
読書 ノート	諏訪康雄著『雇用と法』	渡邊 博顕
資料	JIL労働文献目録	日本労働研究機構

日本労働研究機構

〒163-0926 東京都新宿区西新宿 2-3-1 新宿モノリス26階

☎03-5321-3074



研究と運動を ジェンダー視点でつなぐ 女性労働についての研究誌

『女性労働研究』37号 (2000年1月発行)

巻頭 時代の転換と労働運動フェミニズムの可能性 木下 武男
一年功制・能力主義の改編と女性労働—

座談会 女が働くことはフツーになったか?—それぞれの職場から—

特集 「女性二〇〇〇年会議」に向けて—自治体女性政策の展開と課題—

女性二〇〇〇年会議と日本の課題 橋本ヒロ子
自治体女性政策の到達点と課題 渋谷 敦司
阪神間自治体の女性政策の課題と展望 朴木佳緒留
福島県における女性政策の展開 千葉 悦子
小規模自治体の女性政策 浅野富美枝
—埼玉県吉川市のケース—

スウェーデンから学ぶもの 伊田 広行
—個人単位政策によって男女平等を達成した福祉国家—

〈研究論文〉
家族介護と介護の社会化 中井紀代子
—日本型ジェンダー構造からの離脱をめざして—

本体価格 1,500円
年間定期購読料 3,300円<年2回・送料込>

〈申込み先〉

郵便：〒113-0021
東京都文京区本駒込5-16-9
学会センターC21
日本学会事務センター気付
女性労働問題研究会
FAX：045-962-6031

編集・発行：女性労働問題研究会
発売：ドメス出版 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-3-15